

赤十字血液センターだより

# さちしお

SACHISHIO

「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました



石川県赤十字血液センター  
ホームページ

## ル・キューブ 5周年記念イベント



石川県ご当地けんけつちゃん

まつち

といえち



3月下旬、献血ルーム ル・キューブで「開設5周年記念キャンペーン」を開催しました！

期間中には、ハンドケアサービス、骨盤ゆがみチェック、マネー相談会といったイベントを行い、大好評でした。年度末でお忙しい中、多くの皆さんが献血にご協力くださり、ありがとうございました。

県内2カ所の献血ルームでは、随時様々なキャンペーンを実施しています。血液センターホームページでご案内していますので、ぜひチェックのうえお越しください。

●献血ルーム ル・キューブ 金沢市袋町1-1 かなざわはこまち3階 TEL (076)220-1655

【受付時間】10:00~12:30/13:50~18:00 【定休日】月曜日(祝日の場合は開設)

●献血ルーム くらつき 金沢市鞍月東1-1 石川県庁前 TEL (076)237-3745

【受付時間】月~金 9:00~11:40/13:00~16:45 【定休日】日曜・祝日  
土 8:30~11:40/13:00~16:15

●献血バス 県内各地の市役所・町役場・公共施設・ショッピングセンターなど

【受付時間】各市町広報や献血会場ポスター、石川県赤十字血液センター HP等でご確認ください

2019.4  
Vol. 137



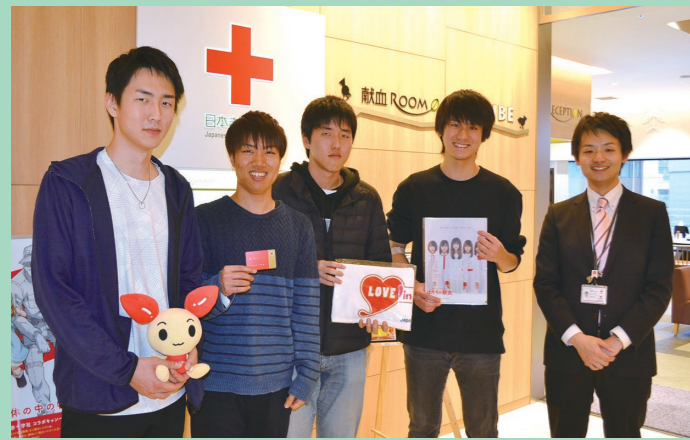
日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

石川県赤十字血液センター



# 献血ルーム 篇

献血ルーム ル・キューブ



学生レポーター：金沢星稜大学の皆さん(左から)米澤 秀哉 さん/森本 裕也 さん/豊田 泰生 さん/明彦 一輝 さん  
献血ルーム ル・キューブ：谷内 光

## まずは見学してみました！

金沢星稜大学のゼミ仲間4人で「献血ルーム ル・キューブ」にやって来ました。今回初めて献血ルームに来たメンバーもいます。

そこで、献血ルーム ル・キューブの谷内さんに案内していただいて、まずは献血ルームの中を見学してみました。

かなざわはこまち3階にある献血ルーム ル・キューブ。一

歩入るとまるでカフェのような雰囲気です。木のぬくもりが感じられるインテリアで、とても落ち着きます。

この日も多くの方が献血に来ていましたが、順番を待つ間、皆さん思い思いのソファでゆったりくつろぎながら、飲み物を飲んだり、お菓子をつまんだりしていました。これは、献血前後の水分・糖分補給のためだそうで、スタッフの方も「水分を十分に摂ってくださいね」と促していました。ルーム内に自販機があり、自由に飲めるそうです。たくさん種類から選べるのも嬉しいですね！

本や新聞・雑誌・マンガもたくさん用意されています。DVDも豊富にそろっていて、献血しながら見ることができます。他にも、インターネットが閲覧できるPCのほか、フリーWi-Fiも完備されていて、待ち時間にネットも楽しめます。

DVDも豊富！



まるでカフェ！のような待合スペース



たくさんの種類から選べます

奥には自習コーナーもあって、献血のついでに勉強していく学生も多いそうです。中にはお子さんと一緒に来られている方もいました。

献血ルームにはキッズスペースがあるので、大人が献血している間、お子さんはここで遊んで待つことができます。おもちゃや絵本、DVDなどが揃っていて、子供たちがお母さんに見守られながら楽しそうに遊んでいました。



ネイルケアのサービス



石川県理容美容専門学校の皆さん



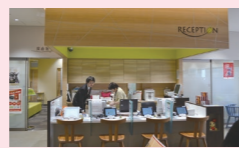
キッズスペース

また、この日はちょうど「ホワイトデー献血キャンペーン」の期間中で、石川県理容美容専門学校の学生さんがネイルケアのサービスを提供していました。この日がお休みの偶然献血に訪れた、という女性は、ネイルケアをしてもらってとてもリラックスできた、と喜んでいました。

献血ルームでは、年間を通して様々なキャンペーンを実施しているそうです。血液センターのホームページ等で告知しているそうなので、献血ルームに行く前にチェック！ですね。

## 実際に献血してみました

せっかくの機会なので、僕らも献血してみることにしました。



受付



献血前の質問に答えます



受付後のリストバンド

まず、**受付**です。スタッフの方から献血に関する説明を受け、同意の上で申し込みます。身分証を確認してもらい、氏名や住所などの情報を登録してもらったら、回答用タブレットで献血前の質問事項に答えます。

健康状態や治療歴、海外渡航歴などに関する質問で、全部で23問あります。輸血を受ける患者さんと献血者、双方の安全を守るための質問だそうです。

受付が完了したら、手首にリストバンドを巻いてもらい、待合で順番を待ちます。

次に、**献血前の問診と血圧測定**です。プライバシーを守るため、個室で医師の問診を受け、血圧を測ってもらいます。

問診内容も問題なく、血圧も安定



街中であって、気軽に献血できる「献血ルーム」。“どんな所なんだろう…”、“献血ってどんなふうにするの？”そんな素朴な疑問に答えるべく、県内の大学に在籍する学生さんが、「献血ルーム ル・キューブ」を体験レポートしてくれました！



していたので、医師から「大丈夫！献血できますよ」と言ってもらいました。



ほんの少しの血液で検査します



血液型の事前検査

続いて、**ヘモグロビン濃度測定**です。献血するためには採血基準がありますが、その一つである血色素量(ヘモグロビン濃度)が基準を満たしているかどうか測定するため、少量(2cc)を採血してもらいます。ちょっとドキドキしましたが、一瞬で終わりました。結果は、「献血できる十分な濃度があるので、OK！」でした。僕は今回400mL献血をしましたが、成分献血の場合は同時に血小板数も測定するそうです。

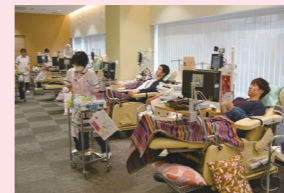
献血が初めての人には、**血液型事前検査**もしてもらえます。看護師さんが血液を試薬と反応させて、血液型を判定してくれます。実際に判定紙を見せてもらいましたが、その場で血液型がわかって驚きました。献血後2週間程度で自宅に血液検査(生化学、血球計数検査)の結果が届き、血液型が確定するそうですが、それ以外にもコレステロールなどの数値がわかるので、結果を健康のパロメータにしている方も多いんだとか。届くのが楽しみです。

待合で十分に水分補給したら、いよいよ**採血**です。

採血室はゆったりしていて、リクライニングチェアのような採血ベッドが並んでいます。

看護師さんの案内でベッドに寝たら、「レッグクロス運動」という気分不良を予防する運動をしつつ、テレビを見ながらリラックスして採血します。ベッドの横では、自動採血装置が動いていて、自分の血液がバッグに少しずつたまっていく様子が見えます。

今回は400ml献血をしましたが、採血時間は15分間くらいでした。成分献血では、個人差がありますが



広い採血室！ベッドがたくさんあります



「レッグクロス運動」を採血中続けます



**＊ お待ちしております ＊**

**献血ルーム ル・キューブ**  
金沢市袋町 1-1 かなざわはこまち 3階  
☎(076) 220-1655

**献血ルーム くらつき**  
金沢市数月東 1-1  
☎(076) 237-3745

40～90分間くらいだそうなので、今度はDVDを見ながら成分献血にもチャレンジしてみたいと思いました。

自動採血装置(全血)

採血時に手に持つスポンジ握ったり緩めたりしながら血流を促します

採血後は、待合に戻って水分補給をしつつ、ゆっくり**休憩**します。その間に、献血後の過ごし方について、谷内さんが詳しく説明してくれました。

最後に、**献血カード**を受け取ります。裏面には、氏名や献血者コード、今回の献血日、次回献血可能日が記載されていて、全国の献血ルームや献血バスで使えるそうです。自分の名前が入った献血カードをもらって、少し誇らしい気分になりました。

## 献血ルームに行こう！

今回初めて献血ルームに来ましたが、終始リラックスして献血することができました。また、僕らの他にも若者が何人も来ていたのも印象的でした。

谷内さんによると、献血ルーム ル・キューブでは年間約13,000人の方が献血してくれますが、そのうち10～20代の若者は約3,200人、約25%を占めるのだそうです。「皆さんのような若い方にも気軽に来もらえるような雰囲気づくりを心がけていますので、街歩きや買い物のついでに立ち寄ってみてください。初めて献血する方や、仲間やご家族と一緒に来てくださる方も大歓迎です。」と話していました。

最近では、金沢での観光の合間に献血ルームに来てくれる観光客の方もいるそうです。日本全国に献血ルームがあるので、旅行のついでにご当地献血を楽しむのもいいですね！

初めての献血ルーム、僕らもとてもリラックスして献血できました。県内には、他に「**献血ルーム くらつき**」もあります。皆さんもぜひ一度献血ルームに足を運んでみてください！

(平成31年3月 取材)

# 献血サポーター ご紹介コーナー



## 加賀市消防本部 様

加賀市全域を管轄し、火災や救急、救助など人命を救うための緊急対応だけでなく、地域の消防団員で組織される加賀市消防団と連携し、平時から地域において火災や災害を未然に防ぐための様々な予防活動や防災啓発活動が行われています。

献血には平成12年からご協力いただいております、加賀市消防団主催のもと、本部署員の皆さんだけでなく、市内の各地域から毎回多くの消防団員の皆さんも集まり、献血していただきます。本年3月24日（日）にも献血を実施し、これまでに延べ1,155名の方が献血していただきました。

長年にわたる献血協力のご功績により、平成18年には石川県知事感謝状を、平成26年には厚生労働大臣感謝状を受賞されています。



加賀市消防団のご協力のもと、毎年3月に献血を実施しています。消防団員の皆さんとともに、日頃から地域の防災に努めていますが、献血を通して、また別の形で地域の皆さんの安全や健康のお役に立てることを嬉しく思っています。これからもぜひ献血に協力していきたいと思っております。  
加賀市消防本部 消防総務課 山本 篤 様



私たちは献血をサポートしています。

**「献血サポーター」とは**  
医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体の皆さまです。

お問い合わせ **石川県赤十字血液センター 献血推進課**  
TEL(076)254-6372 <http://www.ken-sapo.jp/>

## 16年連続 K.I.T. 金沢工業大学 学内献血年間千人達成!!

金沢工業大学では、校友会学生健康委員会が主催する学内献血を毎年実施しています。平成31年1月23日（水）、年間学内献血者数が1,000人を突破しました。平成15年から実に16年連続の快挙です。



記念すべき1,000人目となった大学院工学研究科1年の藤田貴志さんには記念品を、また校友会学生健康委員会には感謝状と記念品を、それぞれ当センター塩原所長より贈呈しました。

藤田さんは、高校2年生から献血を始めたそうで、今回は14回目の献血でした。当日はテレビ局などからの取材も受け、「まさか自分が1,000人目になるとは驚きました。献血で人の役に立てるなら嬉しいです。」と話していました。

学内献血の準備や当日の呼びかけに頑張ってきた校友会の皆さんも達成感は一ひとしおで、「ぜひ来年度も年間1,000人を目指して献血を呼びかけていきます。」と、来年度に向けてまた決意を新たにしていました。金沢工業大学の皆さん、本当にありがとうございました!!



## ありがとうございました！永年献血

長きにわたり献血にご協力いただき、今般献血を卒業された皆さまをご紹介します



30代の時から献血を始めました。世の中の役に立ちたい！と。私の献血で喜んでいただける人がいるなら始めて218回。「患者さんからのメッセージ」を読んで、献血した私が勇気と元気、喜びを戴いています。看護師さん、先生、スタッフ、皆さんに感謝です。人の喜びこそ、我が最大の喜びです。  
樋田 信男 様 (福井市)



もう70歳になります。最後の献血をしました。献血した回数14回でした。おかげ様で病気がなくて暮らして来ましたが、振り返ると、もっと献血したらよかったと思います。少しは世の中の役に立てたかと感謝！  
濱内 満 様 (野々市市)



ようやく日差しが心地よくなる季節となりました。新年度を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか？今年度も当センター広報誌「さちしお」は、年々10代～30代の献血者が減ってきていることを受け、その世代を中心とした多くの皆さまに興味を持っていただけるよう情報を提供していきたいと思っております。花便りも伝わるこの頃、ご家族、お友達、会社の皆さまを誘って、ぜひ献血にお越しください。スタッフ一同お待ちしております。  
(編集委員 H)